



ひたすら毎日走る



田子浦小学校6年

佐野 智 昭

「ハアツ。ハアツ。ハアツ。ハアツ。ハアツ。ハアツ。ハアツ。ハアツ。ハアツ。ハアツ。」朝6時30分。ぼくは砂浜をもくもくと走る。今年のぼくの第1の目標は「毎日マラソン」。1日も欠かさずマラソンを続けることだ。

この目標を第1に選んだ理由は、まず健康なからだをつくるためだ。ぼくは、登校する前わざと涙のつめたい風に対抗して、ひとつぱしりしてくる。ちょっとのことでは病気にならないからだをつくるためにきた

えるのだ。第2の理由は、2月18日におこなわれる校内マラソン大会で1位をとりたいからだ。校内マラソン大会は、学年別におこない、しかも男女別でやるマラソン大会だ。走るきょりは約2.5キロだ。このマラソン大会はだれもが自分の力いっばいの力、今まで練習してきた力をふるにだしきって競う1年に1度しかないレースで、ぼくたち6年生には最後のレースだ。みんなもこのマラソン大会めざして毎朝運動場を回っている。みんなが学校だけの練習な

らば、ぼくはその2倍やらなければという考えがある。第3に将来ぼくはスポーツ関係の道へ進みたいと思っている。それは野球だ。野球をやるのがぼくの夢だ。だからそういう点でも役に立つと思う。だけど今はまじかにせまっているマラソン大会のことが一番頭の中にあるのだ。

「毎日マラソン」我ながらとてもいいめあてだと思う。田子の浦の海岸を毎日ひとりで走るのはとても気持ちがいい。朝日が美しい日や波のあらい日もある。田子の浦魂を思い浮かべながら海べを走るのはそう快だ。「毎日マラソン」を、ほんとうに毎日マラソンにしよう。今はただひたすら毎日走るのだ。



“ドンドン”焼き

「ドンドン焼は14日、サルの……」と歌いながらお正月の松飾りを焼く行事を知っているかな。この辺では「ドンドン焼き」というけれど地域によって呼びかたが違うんだ。トンド、ドンド、サギチヨウ、サイトウなど。

この行事は、昔は宮中のお正月行事だったけれど、だんだん全国に広がっていったんだ。そして、書初めを火にかざして高く上ると字がじょうずになるとか、団子を焼いて食べると病気にならないとか、その地域によって、いろいろな伝えられてきたんだよ。

わたしの作品



〔評〕なかなかよい作品で、力もあります。欲を言えば、泉の入りが少し弱いことです。(青木臨川)



〔評〕字の形はととのっていますが勢が少し足りない様です。もっとがっちり書くことに心がけるとよくなります。(青木臨川)

のせてほしいものは
ありませんか

学園ひろばにみんなが書いた作文や学校の行事などのせてほしいものはありませんか。知りたいこと、のせてほしいものがある時には、市役所広報課(電51-0123 内線528・529)へお知らせください。